



令和 7 年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマについて

1 キャンペーンテーマ

U=U 検出されない=性感染しない

2 趣 旨

本キャンペーンテーマは、主として次に掲げるメッセージを発信するものです。

これまで HIV とエイズに対して様々な取組がなされてきました。

治療法の進歩により HIV 陽性者の予後が改善された結果、HIV 陽性者は感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぐことができ、HIV に感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。また、近年では、HIV 治療を受け、血液中のウイルス量が検出できない程度に最低 6 ヶ月以上継続的に抑えられている HIV 陽性者からは、性行為によって HIV が感染することがないことも確認されています。このことは、Undetectable（検出限界値未満）=Untransmittable（HIV 感染しない）、略して「U=U」と呼ばれています。

つまり、治療の進歩で HIV 陽性者の生活は大きく変わり、HIV 感染の予防にも、その進歩に支えられた様々な選択肢が用意されるようになりました。しかし、現状はそうした変化が正確な情報として十分に伝わっているとは言えず、有効な治療法がなく、死に至る病であった時代の認識にとどまっている場合が少なくありません。そのことが HIV 感染を心配する人を検査や治療から遠ざけ、また差別や偏見を招く要因の一つになっているとも言われています。

そこで、今年度の「世界エイズデー」キャンペーンテーマは、この「U=U」という言葉をより一層浸透させることで、もう一度 HIV とエイズのことを考えてみましょうというメッセージが込められています。ひとりでも多くの人々が HIV とエイズのことを自分の事として捉え、HIV とエイズに関する検査や治療、支援などの知識を身につける契機とし、最新の知識の普及を通じて、HIV 検査の受検促進や差別・偏見の解消につなげていきたいと考えています。

厚生労働省 令和 7 年度「世界エイズデー」実施要綱 添付資料より

